

## 佐原PJプロデュース“灯りの小路”開催

text\_suzuki

“Akari-no-komichi” produced by Sawara team was held.

8月13～15日の3日間、佐原の夏祭り“夕涼み”が開催された。佐原PJチームが企画・運営を進めてきたメインイベント“灯りの小路”も住民・観光客の方に楽しんでいただき、無事終わることができた。

“Yu-suzumi”, summer night festival of Sawara, was taken place on 13rd, 14th, and 15th August. Our team produced “Akari-no-komichi”, the main event of the festival. It attracted many visitors and residents, and will lead us to the next step.

今年の佐原PJのテーマは「回遊性」。伝統的建造物が並ぶ小野川沿い・香取街道沿いに集中する人々を、いかに面的に回遊させるかという課題に取り組んでいます。“灯りの小路”は、夏祭り恒例の小野川の灯籠流し・ライトアップに合わせて、普段人がなかなか通らない路地にあんどんを設置し、夜専用のマップを配布することで人の流れを生み出そうというものです。どうしたら人々は路地に入っていくのか。人々が路地を回遊することでどのような効果・課題があるのか。回遊性を考えていく上でのこういった疑問に対して、実験をしてみよう。その思いから“灯りの小路”を企画しました。“灯りの小路”はきれいな空間となり、いろいろな方々に楽しんでもらうことができました。と同時に、日常的に回遊性を生み出すためにやらなければいけないことや課題もたくさん見つかり、長い道のりのほんのわずかな一歩を踏み出したに過ぎないということも実感しました。しかし、イベントを通してまちの方々と出会い、話ができたことはこれからの活動に大きく役に立つ経験であり、小さいながらも大事な一歩を踏み出すことができたと思っています。

## 灯りマップ



灯りにかざすときれいに見える夜専用のマップ。マップと実際の空間とのインタラクションを目指しました。見慣れないマップに、来場者のみなさん興味津々で大人気でした。



## うちわマップ

最終日はメンバー全員浴衣姿に。スタッフ自身も大いに楽しみました！



## スライドショー

## 蔵



“灯りの小路”の核の一つとして、蔵を利用したカフェ、カフェへと誘導するガラスのオブジェをプロデュースしました。小路の中の立ち止まるスポットとして、人を路地に流すポイントとしてのデザインを心がけました。

佐原の回遊性を高めるための屋外お散歩マップ。限定された現在の観光ルートを面的に広げることを狙った。マニアックな情報が多い点は反省点だが、暑い中うちわとして大活躍。



## あんどん

## 路地



“灯りの小路”の入り口として。「さわら百景：新しい佐原の魅力、みんなでつくる佐原の魅力」をコンセプトに、観光客の送ってくれた写メールを上映しました。送ってくれた人たちが夜まで滞在してくれ、映し出された自分の写真に喜んでいました。

夜の佐原の魅力を知って欲しい！という思いのもと、普段人通りの少ない飲み屋街から緑溢れる屋敷街へと、あんどんの灯りで人々を導きました。

## D3 Chi &amp; Tiamsoon 博士論文審査会

Final defence of dissertation  
of our two members

8月21日博士課程2人の博士論文審査会が行われました。発表後のD3Chiにコメントをいただきました。お二人ともおつかれさまでした。

text\_suzuki



“The Notion of Historic Urban Landscape and its Application to Visual Impact Assessment of Historic Town, Case of Old Bangkok”  
Tiamsoon Sirisrisak

“A Study on Place Identity of Urbanised Agriculture-based Settlement”  
-change and transformation of urban village in Hanoi- Le Quynh Chi  
一論文執筆で苦労したことは？

とにかくデータを集めるのが大変でした。情報は国の機関が持っている、なかなか外部の人間には見せてくれないし、少ししか見せてくれない。古い地図も入手が困難でした。ベトナムに戻ってからの抱負をお願いします。  
ベトナムの大学に戻り、都市計画・都市デザインに携わりたい。ベトナムの都市はこれから大きく変化していきます。その中で、日本で学んだこと、特に建物の保全に関することを、教えていけたらと思います。



## 新コーナー!! 日本全国OB・OGめぐり

第1回 平野彰秀さん(岐阜県)

全国各地で活躍されているOB・OGの方に、自らのお仕事・活動を紹介していただく新コーナーが始まりました。「都市」を学んだ経験をもとに、様々な分野で活躍されている先輩方の活動を取り上げたいと思います。多くの卒業生を輩出している都市デザイン研究室だからできるこのコーナー、目指すは47都道府県制覇! 記念すべき第1回は岐阜県でご活躍中の平野彰秀さん(平成11年卒)です。 text\_suzuki

外資系の経営コンサルで働いていましたが、昨年春、生まれ故郷の岐阜にUターンしました。学生時代はいろいろな地域のまちづくりに「風の人」として関わりましたが、外からアドバイスするよりも、地域に根差した「土の人」になりたいと考え、自分が情熱を注ぎ込める場所を探していました。現場は、岐阜県と福井県の県境にある石徹白(いとしろ)。最寄りのスーパー・コンビニまで車で30分、1000mの峠を越えなければならない最奥の集落です。戦後は1300人いた人口も今では300人を切り、小学生は12人。このままでは消滅する可能性があります。この集落が続いていくために、ここで雇用を生むような仕事を創り出し、若い人が戻ってきたり、入ってきたりできるような仕掛けをつくっていきたくて考えています。

現在は、トヨタ自動車社会貢献プログラム「豊森なりわい塾」の事務局や、小水力発電の普及啓発・研究を仕事にする一方、石徹白へ週3~4日通い、石徹白の地域づくり活動・農業の見習いなどをしながら、石徹白への移住準備をしています。

平野彰秀さんの活動の詳細情報は以下のサイトを参照してください。

石徹白公式HP : <http://itoshiro.net/> 豊森なりわい塾 : <http://toyomori.org/>

New series starts! We pick up our Old Boy and Old Girl working in various field all around Japan.



▲初夏の石徹白の全景

## 神楽坂PJ 早稲田チームとの共同研究

研究生 高橋邦昭

Collaboration with Waseda team continues. The theme is the rule for preserving the town landscape.



▲白熱した議論が続く

8月24日において、8月3日に引き続き、早稲田大学法務研究科日置研究室の方々と神楽坂プロジェクトメンバーで共同勉強会が行われた。内容は景観保全のためのルールと運用に関して、事前協議と事後協議のあり方について議論をするというもので、2チーム(住宅班と商業班)に分かれて議題を出しあって、議論をするというものだった。

この勉強会において私の関心事は景観の背後にある地域住民の生活に関して、いかなる法的な根拠が与えられるかという事だった。今後このテーマはますます重要性を増してくるだろうと思われるが、ではどうすればよいのかという話になるとお互い話は平行線のまま、...

しかし、お互いに厳しいスケジュール環境の中で、なかなか集まる事は出来なかったが、数少ないミーティングは実り多いものとなりました。これからも引き続き景観に関するアドバイスをいただきたいです。

## 佐原『全国町並みゼミ』プレ大会

text\_sakuraba

"Zenkoku-Machinami Seminar" will be held in November, in Sawara and Narita. We now prepare for it like this pre-seminar.

8月23日、佐原中央公民館にて、11月に開催される『全国町並みゼミ』に向けての関東ブロックでのプレゼミを行いました。佐原、川越、台東区谷中、成田、栃木、茨城県桜沢市真壁町、桐生の7つの団体によって、これまでの町並み保存の努力、観光に対する意識等の発表や議論が交わされました。特に、回遊性については、各地域、それぞれに意見が交わされ、私たちとしても今後の佐原の回遊性について深く考えさせられました。パネリストとして参加したD1ナッタポンは、佐原の『回遊性』について、これまでの私たちの現場での実験を例に、時代の流れと佐原のまちの空間の構成をわかりやすく解き、聴衆の心をつかんでいました。なにより、コーディネーターを務めた窪田先生の最後の言葉、『回遊性。それは人生を豊かに生きること。回らなくてもよいところを回遊すること、いろいろなものにぶつかること、こうして人生が豊かになる』...胸に響きました。



▲コーディネーターの窪田先生とパネリストのナッタポン



▲回遊性について語る窪田先生

### 都市デザイン研究室 情報欄

おし  
らせ

この日の主演は、常夜燈が灯る八朔の夕べ  
九月十二、十三日  
ヨルトモ



### 8月-9月の予定

- 8月26-28日 建築学会
- 8月31日 浅草PJイベント  
「晴れのちシャボン玉@こくさい通り」
- 9月2-6日 高山現地調査
- 9月7日 第1回アーバンデザインセンター会議@柏
- 9月11日 渡辺定夫先生の喜寿を祝う会  
18:30~ @学士会館
- 9月12-13日 ヨルトモ

### 編集後記

新コーナーのこれからは楽しみですが、僕が卒業するまでには全国制覇は厳しそうですが、後輩にはぜひとも達成して欲しいと思います。今年の夏は、佐原にどっぷりつかったアツい夏でした。 text\_suzuki